



いま瀬戸内海の環境は どうなっているの？



「海洋教育フォーラム」とは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。今回の広島開催のフォーラムでは、「いま瀬戸内海の環境はどうなっているの？」と題して、専門家の先生に詳しく語っていただきます。近年「瀬戸内海の魚や貝がとれなくなった」という声も耳にしますが、「現実の環境はどうか?」、「海の幸を守るか」などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

日時：2017年12月2日（土）13：00～16：10
受付12：30開始

場所：JMSアステールプラザ 7F 研修室
(〒730-0812 広島市中区加古町4番17号)
<http://www.hymca.jp/hall/access/>
バス停：加古町下車徒歩5分



昨年(2016年)の様子 スタッフと講演者(昨年)

対象：一般（定員80名）

参加費：無料（参加者には講演要旨集を配布）

講演内容：

- 13：00～13：15 開会挨拶「海をもっとみんなで知ろう」
(小林正典, 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会委員長)
- 13：15～13：55 瀬戸内海の藻場とブルーカーボンについて
(堀正和, 瀬戸内海区水産研究所 主任研究員)
- 13：55～14：35 瀬戸内海のニホンアワサンゴ群生地の海藻
(加藤亜記, 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授)
- 14：35～14：45 休憩
- 14：45～15：25 瀬戸内海のごみについて
(山本裕規, 復建調査設計 席主任エンジニア)
- 15：25～16：05 瀬戸内海的环境管理について
(西嶋渉, 広島大学環境安全センター 教授)
- 16：05～16：10 閉会挨拶
(作野裕司, 広島大学 准教授, 第39回海洋教育フォーラム実行委員会委員長)

参加申し込み（要事前予約）：

下記のE-mailまたはFAXにてお申込みください。メールまたはFAXの見出しに、「海洋教育フォーラム申込」と明記し、①氏名、②所属、③電話番号、④メールアドレスをご記入の上、以下のメールアドレスにお送りください。なお、複数の場合は同時申し込みで構いませんが、全員の情報をお送りください。締切は11/26(日)です。

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

FAX: 082-422-7194

※準備ができ次第、「https://www.iasnaoe.or.jp/isn-event/20171202_mecc_hiroshima/」からでも応募可能です。

共催：日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会、
広島大学大学院工学研究科輸送環境システム専攻

後援：広島市教育委員会、教育新聞社